

学年通信

高9回卒

年を取って思ふ事

平野良明

歳を取った！とよく言いますが、私も歳は一杯持っているから取って欲しいです。でも心体の歳は年々増えるのを実感します。歳には勝てんとよく言いますが全くその通りです。

特に脳の衰えは自分が嫌になるほど分かります。まず言葉（単語）が出て来ません。思い出すのに四苦八苦。又肉体の方は足腰が痛くなり長時間歩けません、一服して歩き出す、の繰り返し、こんな状態を最近の言葉で「フレイル」と言うのでしょうか。このフレイルは適切な対策をすれば心身の健康状態が取り戻せるとの記事を見ました。それは適度な運動・栄養バランスの取れた食生活・社会活動への参加・口腔ケア等だそうです。つまり健康寿命を延ばしながらどう生きるかが我々高齢者の課題と思っています。

「八十歳の壁」に書かれているのは新しい事や好きな事をすれば脳は活性化する・長生きが大事か残りの人生が

大事か・いやな事、無理、我慢はするな。そして老いを受け入れ生きる事が幸せとあります。

私も沢山の方に支えられて今日八十五年を生かされてきました。老いを受け入れ、皆さんにお世話になり、生きる楽しみを探し健康寿命を維持するために出来る事を楽しみながら過ごすよう努めようと思っています。

今はグランドゴルフやショートテニスを楽しみ、高齢者クラブのお世話をして皆さんと和やかな時間を持ち心を癒やしています。

又色んな行事や案内があれば出来るだけ参加する様掛け、出かける機会をつくる様にします。飲み会もあれば、歌う会もあり楽しみは増えます。

天草のド田舎、旧一町田で生まれ育ち百姓で鍛えた体はそう簡単にはつぶれないだろうと考えているが、やっぱり歳には勝てん、が結論でした。今度皆さんと会える時は賑やかに楽しみましょう。



高11回卒

資格を取るのは何のため

益田信行

私も6月で84歳になる。終活らしきことは、以前より少しずつ進めていた。昨年のごとく、新聞で「終活アドバイザー」の講座があるのを知った。そこでアドバイザーになるのではなく、この際しっかり勉強してみようと思いいその講座を申しこんだ。テキストも3冊あり、その都度3回のテストがあり、最後に検定試験がある。なお合格が決まるには最低3ヶ月はかかる。

段々私の脳も記憶が悪くなったので、近頃にしては珍しく一生懸命勉強した。講座の費用も3万円台で無駄には出来なかった。家でテストも受けられるので、その点は気楽に進めることが出来た。お蔭で3回のテストも最後の検定試験も高得点で終わることが出来た。6月末には認定証が届き、晴れて？終活アドバイザーの資格をもらった。

思えば私は、資格を沢山持っている。仕事柄まず1級建築士をとり、1級施工管理士、宅地建物取引主任者、福祉住環境コーディネーター、生涯学習インストラクター等、他に日本美術極2段、日本習字5段もある。

しかしこれを自慢するつもりは毛頭ない。兄が現役で熊大の工学部電子工

学科に合格したが、私は同じ大学の工学部建築学科に1年浪人してやっと合格した人間である。頭の良い人は大して勉強しなくても、基本的に頭がよい。私はそんな人とは違うので、努力して勉強しなければ人並み（それ以上）にはなれないことは分かっている。だから資格を取るにはコツコツ勉強し努力するしかないと思っている。これがテーマの資格の話である。ただこれが最後の資格になると思っている。

ここまで書いてきたが、今のAIの時代を考えると、はたして資格の考え方も変わり、通用しなくなることもあるのではと危惧する。

しかし「人知をはるかに超えたAIに對して超知能は絶対に生み出さない」という決意が重要になる」と某学者は言っているが、はたしてどうなるか・・・

秋のハイキング

今回、初めて秋のハイキングに参加しました。東山を中心に、紅葉の中の京都散策ハイキングでした。一人ではなかなか行けない場所や、紅葉の中の南禅寺・永観堂など、テレビで見えたことのない風景に接することができました。外国人観光客が増加する中、ついつい京都へ出ることに對し、二の足を踏んでしまいがちになる昨今、良い機会を与えていただきました。ちよつとアルコールを入れ、ほろ酔い気分帰宅。充実した1日を提供していただいたことに感謝・カンシャです。

高12回卒

関西図南会の皆さん、
初めまして

岩崎定義

私は現在宮城県に住んでいますが、同期の葦原さんから原稿依頼がありました。これまでに関東あまたかや天草あまたかに寄稿しましたので重複しないように今回は高齢者の立場で見た現実と現役時代の人に話を進めたいと思います。

私達の人生は就学時代、現役時代、余生時代の3つのステップです。就学時代は現役時代を想定して活動しますが意外と現役時代はどんな余生を送るか盲点です。しかし長寿社会になつて余生は約20年間ありますのでもっと関心を持つ必要性を感じました。

高齢化の有病率は男性（女性）は80歳で認知症35%（44%）、難聴率85%（86%）、視力低下約100%（100%）。

健康を保つ為の基本は運動、適正な食事、コミュニケーションですので意識したい。68歳で退職しサイクリングを始めました。サイクリングは現在も続行中でこれ迄14年間風邪を含めて一度も病氣しない事に気がきました。

14年間の総走行距離は約5万kmに達し、地球を一回りし、更に1万km走破病氣しなくなった原因は血流の促進で

はと思います。人の血管の総延長は約10万km（地球の二回り半）心臓が一日に送り出す血液の量は約7トン、改めて血流の大事さが解ります。

又人の脳の重さは体重の約2〜2.5%。しかし血液の使用量は約20%だそうです。従って脳にとっては円滑な血流が不可欠です。

高齢化によって、先ず前頭葉の委縮が始まり短気になり日常生活にも支障がでます。余生時代の大きな環境変化は運動量とコミュニケーションが急減する事です。従ってそれらの維持に努める必要があります。

運動は独自の運動の習慣を取り入れコミュニケーションは趣味友との交流やスマホのラインでのトークで補充しましょう。私達12回生は天草、北九州、関西、関東のメンバー21名と毎日トークを楽しんでいます。難聴対応として耳鼻科紹介の補聴器は20万円以上でしたが、私はICレコーダーを録音状態でイヤホンで聞き補聴器の代用として重宝しています。

どうか皆さんも何時までもお元気で余生を楽しんで下さい。



能登半島地震復興支援
田尻薫写真展

元本渡市議会議員・田尻薫さん（高12回卒）の写真展が天草市民センターにおいて開催されます。6月12日から16日までです。
是非ご覧になって下さい。

ポスターは21ページに掲載しています。

天草プラザホテル

QRコード



天草・本渡のお泊り
とお食事処

あなたのパーソナルホテル

天草プラザホテル
〒963-0022 天草市東町4-8
TEL 0969-23-5511 / FAX 0969-23-5588
会派家カブス 熊本料理
〒963-0022 天草市東町5-18
TEL 0969-23-5431 / FAX 0969-23-5130

まちのコミュニケーションホテル

プラザホテル アネックス
〒963-0032 天草市上庄町15-1
TEL 0969-23-3000 / FAX 0969-23-1240

プラザホテル ベルメゾン
〒963-0032 天草市大田町12-3

プラザホテル キューブ
〒963-0032 天草市大田町15-14

<https://www.amaxa.co.jp> plaza@amaxa.co.jp

あまたか関西を応援しています

株式会社 **フジコー**

取締役会長 **原田 龍雄** (高11回卒)

熊本県天草市亀場町亀川1704-1

TEL 0969-24-2308 FAX 0969-24-2417



民芸様式・暮らしの器・手仕事の美

露古壽窯
ろ こ じゅ がま

現工房・住所 京都府船井郡京丹波町森山田3



西堀志伸

☎ 070-5660-2186

旧工房・自宅 京都府長岡京市梅が丘3-35

西堀寛厚 (高9回卒)

☎ 075-951-5222

高14回卒

「硫黄島戦没者遺骨収集」
に参加して

椎場 光穂

厳寒の一月末、私は3回目となる「硫黄島戦没者遺骨収集団」の一員として参加しました。編成は厚生労働省の遺骨鑑定人、小笠原村役場職員、硫黄島旧島民の会等全国から38名の遺族関係者や賛同者で編成されています。



宿舎から摺鉢山を臨む

太平洋戦争の末期、米軍は日本本土爆撃計画を成功させるためB29の前進基地として絶対欲しい硫黄島でした。わが日本軍は栗林忠道中将以下2万2千の兵が飲料水もない小さな島（吹田市よりやや小さい）において総勢7万を超える米軍と戦い2万1千人が戦死。その亡骸1万1千人がいまだ島に眠っています。

一、慰霊碑への報告

島東部の小高い丘に、「硫黄島戦没者の碑」が建立されています。我々派遣団は「来島時」と「離島時」には必ず報告します。碑文は「さきの大戦において硫黄島で戦没した2万余名の将兵をしのびその霊を慰めるため国民の思いをこめてこの碑を建立する」と記してあります。

二、収容作業

入島から二日目、いよいよ作業が始まります。今回の収容作業は、団を3個班に分けスタート。前2回は全長18kmに及ぶ地下壕での作業でしたが、今回は地表のため作業は計画どおり進行了しました。



遺骨は1m程掘り起こした土中に埋まっています。硬い土や岩はツルハシを使用、遺骨を発見したら移植ゴテ等を使い丁寧にすくいとりまします。その殆んどがボロボロとくずれ、そのままの形で保全するのが難しいのです。ハケやブラシで汚れを落とし綺麗にします。併せて、鑑定の先生による部位等の説明も行われます。初めて参加した時は緊張のあまり触ることさえ躊躇したことを思い出します。

初日は三体を収容、宿舎の仮安置室まで白布で包み捧持しました。

指定の場所に遺骨がないと判断したら次の地表に移ります。

作業日程は実働12日間で、27遺体を収容し東京へお連れすることができました。

三、馬術の英雄「パロン西」

1932年ロスアンゼルス五輪の馬術競技障害飛越で金メダルを獲得した「西竹一大佐」も戦死されています。彼は貴族出身であることからパロン西と呼ばれていました。西大佐は戦車部隊を指揮し、米軍から投降の呼びかけがあったとされていますが、これに応じることなく、愛馬のたてがみをのばせて最期をとげたといわれています。西大佐の慰霊碑が太平洋を臨む海岸に建っています。

四、離島

12日間の遺骨の収容作業を終え、白布で遺骨を捧持する私たち

は、海上自衛隊硫黄島基地局に勤務する儀仗隊等に送られ入間基地へ向かいま



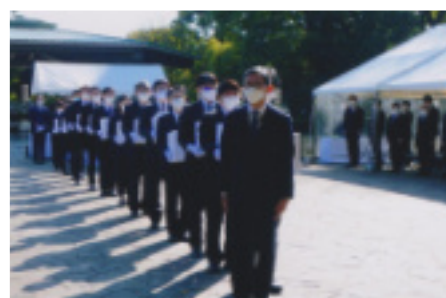
離島 自衛隊の見送り

した。入間基地でも厳粛な迎えがあり、改めて戦火に斃れた人々に敬意を表したい。

五、引渡し式と解団式

政府派遣の遺骨収集派遣団がお連れした27体のご遺骨を、厚生労働省に引渡すため

に行うものです。



遺骨の引渡し式 千鳥ヶ淵戦没者墓苑

会場の千鳥ヶ淵戦没者墓苑には、厚生労働省の団体代表者、国会議員、遺族の皆様の参列があり全員で、拝礼献花が行われました。これで令和5年度第4次派遣団の解団が団長により宣言されました。

【参考】

1、引渡しを受けた遺骨は、厚生労働省においてDNA鑑定等を行い墓苑に埋葬される。

2、硫黄島は火山島で島のあちこから硫黄が噴き出ている。昨年は地下火山が噴火し新島が出現したが、現在は波により浸食で確認が困難となっている。気候は亜熱帯気候、年間平均気温24℃。標高170mの摺鉢山は硫黄島の象徴である。

高15回卒

藤の花の思い出

吉田和佐子

両親がまだ健在の頃、久しぶりに墓参りのために古里に帰りました。驚きました。実家の近くの山で。今が盛りとばかりに誇らしげに、それはそれは美しく咲き乱れる藤の花を、私は初めて目にしました。今まで見たことない場所に花があるんです。古里を離れる時はなかったのに。

藤の花では、驚かされることが時々あります。まだ山陰に高速道路が無い頃、山間を車で走っている時、疎らですが、藤の花が見え隠れし、その様子が繰り返し、何回も見ることができ、うれしくなりました。この時は、私の両親と主人が一緒に、両親は「こんなに何回も繰り返し見ることはない」と喜んでくれました。

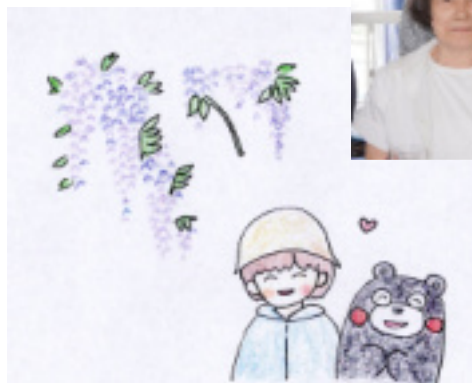
変わって、家族三人（夫婦と娘）で能登から安曇野に車で行く途中、山に藤の花が奇麗に咲いていた、この咲き乱れる藤の花を、途切れなく見続けること（三時間位）感激しました。

時々、桐の花も混じり、驚き続け、つい声が出ると、二人（主人と娘）は呆れ返っていました。

私にとっては、声が出る程見事で、

延々と続く藤の花の並木の様々なのを見るのは、後にも先にも初めてのことで。

これらはすべて、年度は違いますが、五月で、天然の藤の花、見事でした。でも、今回の地震で藤の花も駄目になったかもと家族で話しています。早く復興して、人々が元の生活を取り戻し、また、藤の花を見られるように願っています。



『ゆるやうに恩返し』

本島 昭男

あまたか関西第10号の同級生である（株）小竹組の江越征記社長の特別寄稿『ふるさとに恩返し』で、

新幹線の全線開通は熊本と関西が身近になり、今まで培ってきた人脈、智恵、経験、情報を春風にのせて、ふるさとへ吹き込んで欲しい、と言う彼の言葉で、関西地区担当顧問を頼まりました。2011年の九州新幹線の全線開通まであと2年という時でした。

まず取り組んだのが「ゆるキャラグランプリ」で「くまモン」をチャンピオンにすることでした。当時の熊本県大阪事務所の所長、次長が同窓生だったので最後の最後まで、本人・知人、家族までご縁を繋ぎ、見事に栄冠を獲得しました。それ以来、くまモンの人気は衰えを知りません。その一端に關われたことは今でも誇らしく思っています。

また、関西熊本県人会、熊交会、もつこす会、ふるさと会、会社OB会、学校同窓会等たくさんのお合は様々なご縁（5縁：血縁：地縁：学縁：社縁：趣縁）を繋ぐことができるのでいつも楽しく参加しています。

その一つの例が、熊本に縁がある経済団体「熊交会」の会員で大阪に本社がある食品卸売業の会社が熊本営業所を嘉島町に移転・新設するのに關わったことです。（株）小竹組で施工し、今年の秋の落成を楽しみにしています。輪、絆を繋いでいったおかげでふるさとに少しでも恩返しできたかなとひそかに思っております。

（株）小竹組は11月に、創業100年を迎えます。仕事量拡大により現場担当の建築技術員を募集中です。特に、有

資格者は優遇で、U・I・Jターン大歓迎です。

熊本地区を元気にする情報がありましたら関西地区担当：本島昭男までご一報ください。



創業 100年
人と、暮らしと、夢実現のお手伝い

小竹組
総合建築株式会社

代表取締役社長 江越 征記（高15回卒）

本社 〒862-0971 熊本市中央区大江4丁目13番20号
電話：096-366-2111 FAX：096-366-2116
ホームページ：https://kotakegumi.co.jp
メールアドレス：sounmu@kotakegumi.jp

支店 鹿児島支店
関西地区担当 顧問 本島 昭男（高15回卒）
〒651-1514 神戸市北区鹿の子台南町2丁目8番5号
電話・FAX：078-951-6875
メールアドレス：motoshima@ooen21.odn.ne.jp

高16回卒

「過ぎ去る日々の時間は年々スピードUP」

松浦俊彦

昭和39年卒業の皆様方、それぞれの地で元気で頑張っておられますか。39年度は「第18回東京オリンピック」でしたね。あれから60年、時間経過は誰でも平等に過ぎ去ります。振り返ると、「喜怒哀楽」ありの面白いのが人生です。

私の懐かしい思い出としては、小学・中学・高校の12年間は、今思うと、良き時代を過ごしました。我が家が本渡南小学校の運動場の傍らにあり、小学校と高校は近すぎてギリギリ登校で遅刻も少々同級で樋島の森島君や剣道をしていた江口君らとトリオでよく遊び回っていました。懐かしいです。

会社には天高から男女で8人、他の高校から10人程、20年後くらいから男性は西富君と二人になり、その彼も



53歳で逝去し、寂しい思いがしました。

天草へは本渡中学の同窓会が3年おきにあり、幹事の山下君から案内状が届くので、よく参加していました。中学まで計9年間の同窓です。友も多く、あの時代が懐かしく、喋りまくりの時間でした。

今は母親も他界して、従兄弟の田中陶器店も息子が跡継ぎしないで大阪に住し長く閉店状態、この場所の中央銀天街今は寂しき状況です。

私もここ姫路の住民となり、年月が過ぎました。住み心地が良かったか、転職が面倒なのか自分でも今更ながら感心しています。ビックリです。姫路城が近くにあり、史跡もありで、住みやすい所。昨年より「世界遺産登録30周年記念式典」があり、この1年間、季節ごとに各イベントが行われています。観桜会・観月会・菊花展・駅前ライトUP・鏡花水月・さくらサーカス・姫路城マラソン・平成中村座姫路公演・駅から城イルミネーション、私は



この姫路市の御国野町国分寺に在住しています。

この地域は歴史麗しいところで、ほぼ近くに、兵庫県では2番目に広い前方後円墳の壇場山古墳がありま

す。他には播磨国分寺跡・軍師黒田官兵衛の御着城跡・櫛の堂古墳・山之腰古墳等。機会がありましたらお出ください。姫路城は駅前から見えています。徒歩で15分ほど。

私も今年で79歳、ボケ防止のために千三百世帯の地元国分寺自治会の役員で12年の長丁場、会計6年間、今年7年目の自治会長をしています。来年はしんどいので引退します。

高19回卒

『ピーナッツ』
or『落花生』

林田 実

最近の健康志向により、ナッツ類の需要が急上昇中で、スーパーの店頭ではミックスされたナッツが山積みとなつた光景を目にすることが多くなりました。健康の為にヨーグルトと一緒に毎日食べている方も多くいます。

また、最近では、ケーキや洋菓子に使われ、アーモンド・ピスタチオ・カシューナッツ入りのドリンクやアイスクリームも登



場しています。そして、ナッツの入った洋食は、どことなくハイソな雰囲気を出します。

ナッツ類には、不飽和脂肪酸であるオレイン酸を多く含み、メタボ、高血圧、アンチエイジング、おまけにがん予防効果と良いことづくめで、人気上昇中のナッツですが、その定義は

「植物学的には、種実類に分類されている中の『木の実』」

ということになります。そうです「ナッツ」とは「木の実」の総称なのです。

そこで、本日のお話は、「ナッツ」と名のつく「ピーナッツ」は「ナッツ」か？そうでない？という疑問を解き明かします。

「ピーナッツ」はどう考えても「木の実」ではありません。その証拠に、あのピーナッツの実の煙の地面の下で育ち、大きく成長するのです。「ピーナッツ」は春先に畑に種を蒔き、真夏になると烏帽子姿の黄色の花を咲かせます。その花が終わると子房柄が千枚通しの如く地面に刺さり、そしてその先端が大きく膨らみ殻付き落花生が生まれます。まさに、落下した花から生まれるその名の通りです。その落花生の殻から取り出したのが「ピーナッツ」と呼ばれることになります。

ということで、ピーナッツは「木の実」ではありません。極端

に言う、毎年植え替えて、その花が落ちて地面の中で育つ野菜、それが「落花生」なのです。

残念なことに最近スーパーで見かける殻付き落花生の多くは中国産です。たまに千葉県産の落花生があります。ビックリするほど値段が高くて日本産はもはや貴重品になりました。しからば、自分で育てるしか手はありませんよね。しかも掘りたての生落花生は枝豆同様に茹でて食べると、もうたまりません。

家庭菜園で十分栽培可能です。秋になつて掘りたての「落花生」を殻が付いたまま茹でて上げ、そして冷えたビールとの相性抜群です。掘りたて落花生をいただく、まさに、これこそ家庭菜園ならではの醍醐味です。

皆さんも是非一度落花生作りに挑戦してみても、いかがでしょうか。

最後に一句

『ピーナッツ、呼び名変われば落花生、育ててわかるその名の由来』

私の母も落花生が大好きで育てていました。採れたての落花生を皮付きのまま茹でて食べさせてくれました。あの当時は珍しかったのでよく覚えています。ボールに殻が山のように積みあがってゆく様が面白かった記憶があります。なんでもとれたては美味しいですね。

高20回卒

昨年を思い出す

荒牧たみえ

ちょっと前の去年のことですが、思い出してなつかしんでいます。長い新型コロナウイルスの自粛生活からやっと解放され、気持ちが随分軽くなったものでした。

五月には三年間中止されていた同窓会の開催のお知らせを頂きました。届いた「あまたか関西23号」の中に、その案内を見つけた時はほっとしたことを覚えています。待っていた再会でした。

七月二日当日は久々に会えた同級生と席を共にして、楽しい一時をすごさせてもらいました。企画に工夫された開催だったとのこと、故郷を思わせるあたたかい雰囲気嬉しかったです。また23号の記事には同窓会の今が語られており興味深く読ませて頂きました。役員の方々、同窓会の皆様有難うございました。

プライベートでも忘れられないことがあります。九月連休中、熊本から姉と妹が尋ねてきてくれて、こちらも四年ぶりの再会でした。

積もる話で一日目は過ぎ、二日目は大阪城公園の散策に出かけました。

景色を見ながら天守閣の広場まで歩いたり、水上バスに乗ったりと楽しむことが出来ました。

訳があり、兄弟姉妹とは離れて育った私は随分周りに気をかけてもらったようです。中でも姉達は何かある度寄りそってくれ、今回のような旅行にも幾度と出かけてきました。寝食を共にしてたくさん話し合え掛け替えのない時間をもてたと思います。

次に会える時は、こちらから出向きたいと考えています。

私も体力維持のためウォーキングを続けています。なかなかですが、調子良く歩けた折は爽快で気持ちも明るくなります。無理なく継続をと思っています。

今年も同窓生の皆様に会えますことを楽しみにしております。



地域のために
安全運転で奉仕

鬼池タクシー

車椅子の福祉タクシーも

運行管理者・整備管理者
むら た けい ぞう
村田 恵造
取締役社長
携帯：090-7477-8657

・介護職員初任者研修課程修了・日本赤十字救命講習受講済み
・社会福祉施設職員歴22年〈湧水の里 設立・副施設長など〉

ご利用は 平863-2331
天草市五和町鬼池(鬼池港) TEL:0969-32-1166

元屋
おさかなと地酒

元屋
MOTOYA

店主 元島顕男 (高35回卒)
〒564-6082 吹田市片山町2-11-70
予約 Tel 06-6389-3551

おさかなと地酒 小皿 検索

高21回卒

天高四銃士

岡部 徹

私たち四人は、十年以上前から毎年一回どこかに集まってゴルフを楽しんでいる。自称ゴルフの天高四銃士という。さて、その四人の一人は私だが、あとの三人はと言うと（これより男女とも全て旧姓）肆井 優、田原 昭、池寄 伸二の各氏である。

ある年は、軽井沢72で。また、ある年は伊豆大仁カントリークラブや滋賀県の瀬田ゴルフコースや箱根の仙谷ゴルフコースなどで。きちんと整備されたコースに素晴らしいロケーションの中でのプレーは気持ちが高揚し、喜びもひとしおだ。なんと言っても気心のしれた高校時代の仲間というのがいい。場所によっては、それぞれ愛妻を連



れて来たり、時には宮崎ケイ子ちゃんや宮本涼子ちゃんも参加したりの楽しい会である。但し、ゴルフには関心のない女性軍は、その場所場所で買い物や観光地の散策を満喫。

新型コロナウイルスが猛威を奮っている間の中断はあったが、一昨年に再開した。池寄氏が数年前に本渡に家を建てたのと田原氏が昨年実家を建て替えたので、この2年は、ザ・マスターズ天草コースを回っている。

昨年は12月の3日、4日と連チャンでプレーした。天気も良く楽しかった。木の香りも清々しい新築の田原邸に泊めてもらい、夜は宴会。中西美紀子ちゃんに永田 要ちゃん、田口めぐみちゃんもやつて来てくれて大いに盛り上がった。「やっぱり天草の魚は新鮮でうまかなあ」

今年も天草での集まりになりそう。今回は誰とあえるか、それも楽しみの一つである。

高23回卒

天草へ

金子忠博

天草へ転居して早4年が経ちました。関西在住時には同窓会に参加させてい

ただ楽しい時間を過ごしました。関西西南会の役員及び関係者の皆さまには大変感謝しています。

関西地方に約47年間居住しすっかり地に根を下ろしていました。しかし、生まれ育った天草への思いが募るばかりで定年後には天草への転居を考えるようになりました。住宅、仕事等の条件があり実際に転居したのは66歳でした。定年後に数回帰郷し下調べを行い、最終的には「エイヤー」と勢いを付けて転居しました。そうです「思いっきり」が必要でした。

さて、転居して良い意味で驚いた事は、「近所では玄関戸の鍵を掛けていない家が多い」、「頂き物が多い」とです。もちろん私の家も鍵を掛けていません。「こんにちは」と「玄関戸の開く音」が同時進行。ある日帰宅すると野菜が玄関先に置いてありました。持参人の名前はいまだに不明です。また野菜の収穫を手伝うと大量の野菜をいただき手に負えず、私も近所にお裾分けをしました。少しのんびりして助け合いの精神が健在です。

転居した当初は「生まれ育った天草の役に立つことをしたい」と言う少し気負った気持ちを持っていました。しかしこの数年は日常生活の中で地域との関わり合いを持ちながら、出来ることを少しずつ実行しようと考えてるようになりまし。縁があつて公共施設での仕事に就くことができ、地域の「自治会」及び入会にはまだ早いと思つていた「老人会」へ入会しました。また

「歩こう会」という歩くサークルと「ウクレレサークル」に参加し、ウクレレサークルでは地域の老人会等で慰問演奏をしています。将来的にはウクレレオーケストラが出来たらと考えています。

天草は公共交通機関の便数が少なく不便な面はありますが、自然の恵みが多くまだまだ人情豊かな地域です。釣り、キャンプ、山登り等アウトドアが好きな方には絶好のエリアです。

時々電車や賑やかなネオンの光を懐かしく思い出すこともあります。天草が「人生の楽園」となる様に日々生活をしています。



高24回卒

令和5年春 母を訪ねて

荒木 政雄



母は阿蘇郡南小国村で村の有力者（村会議員）の妾の子とし

明治生まれの母が亡くなって27年になる。阿蘇地方で生まれた母は職業軍人であった父と結婚し戦前は家族と熊本市内、中国（大連）に移り住んだが、終戦後は父の故郷である天草に帰ってきて父と共に農業をしながら8人の子供を育てた。口数が少なかった母であったため子供達は母が阿蘇地方で生まれたことは知っていたがそれ以上のことは何も知らない。母がなくなる前の10年間は私のすぐ上の兄が両親を引取り世話をしてくれていた。母と同居していた義姉とは気が合いよく話していたとのことである。その話の中で実の子供達も知らない自分の生い立ちを少しずつ話してくれたそうである。

て生まれたが認知してもらえず幼少期は実母と2人で村はずれの粗末な水車小屋に住んでいたとのことである。その後縁あって滝廉太郎で有名な竹田（大分）の家族に引取られ当時女性では珍しかった女学校まで行かせてもらったとのことである。

その後陸軍の演習で竹田に來た父と知り合い結婚した。これらの話を義姉から聞いた時から一度は母の生まれた地に行きたいとずっと思っていた。昨年5月旅行で別府温泉に5日間行った時、足を延ばして小国地方を訪れた。住所は分からないので、手元にあった以前取り寄せていた戸籍謄本に載っている母の出生地を、ダメ元で車ナビに入れたらナビが案内を開始しだした。着いた場所は民家が数軒ほどしかないひなびた川沿いの場所であった。昔この川の付近にあった水車小屋に母が住んでいたのではと思うとこみ上げてくるものがあった。その後足を延ばし母が青春時代を過ごした竹田にも行き心のつかえが消えたような気がした。

母についてももうひとつ気になっている事があった。それは終戦後家族が天草に帰ってから、父は消防団、農協の人達と一緒に九州本土の温泉に何度か行っていたが、一方母は天草に來てから亡くなるまでの50年間天草を一度も出たことはなく、何の楽しみもなかった人生をずっとふびんに思っていた。「親孝行したい時に親はなし」の言葉通り母が元気な時は私に経済的な余裕なく母を温泉に連れていくことはでき

なく、今ではどこにでも連れていけるのに母はいない事を大変残念に思っていた。

2年ほど前、天草に帰省し両親が載っているアルバムを見ていた時、1枚の写真に目が留まった。それは母が近所の婦人会のおばさん達と一緒に楽しそうに写っている写真であった。写真の裏面を見ると「嬉野温泉婦人会旅行」というメモ書きがあった。「母は天草を出た時があったんだ」このことを初めて知り少し救われたような気がした。（「父の思い出」については平成24年の本会報に掲載済）



子どもは地球の宝！
守り育てよう！



赤ちゃんから
大人まで
安心してご利用頂けます

医薬部外品 薬じゃないけど常備薬

液体歯みがき

歯みがき剤

〔プレミアムナチュラル プレミアムジェル〕

株式会社 やくそうの島 天草社

熊本県天草市浄海町 59-3 TEL(0969)24-3697



カラダを動かすとココロが羽ばたく！
あましんスタジアム

当金庫は、スポーツの振興を通じて地域活性化に取り組んでいます。

天草信用金庫

高25回卒

平和で元気あつての旅行

伊東和子

昨年、地域で活動している旅友と三年ぶりに海外旅行を楽しんだ。今回は近場のベトナムへ。北部のハノイから中部のフエの建造物群やミーソン遺跡、古都ホイアン、南部のホーチミンと八日間の縦断旅行。すべてをコーディネートしてくれる旅友のモットーはその国の歴史に触れながら安くて美味しい現地料理を食べると言うだけあつて海鮮料理やフォー、バイン・ミーなど全部美味しかった。バイクの多さとクラクションを鳴らしながら交わしていく運転技術にびっくりするやら、ハラハラするやら。

ベトナム戦争時作戦司令部だった地下室や女性博物館等も見学。かつては戦場だったベトナムも今や各国から



旅行客で賑わっている。平和あつてのことだとつくづく思う。

今回も色々な人との出逢いがあつた。ハロン湾出発時にポラロイドで撮ってくれたオーストラリアの若いカップル、ランチで同席になったアメリカの元氣な若い彼女たち。アニメファンというホテルの娘さんから私たちのイラストをもらい感激！

あと何回行けるかな？

高26回卒

洋館に住む森の魔女となる

前垣郁美

暑い日本を逃れて、一昨年に続き夏の三ヶ月を英国で過ごす事にした。前回、フォレストロウという村に立ち寄った時の事である。ここは熊のプーさんで有名なハートフィールドの森に近い所で、この村の空

気感に強く惹かれて、「こんな所に住みたい」と友人と共感しあつたのである。

ところが半年も経たぬ間に、友人はなんとこのフォ



オースチンのような自分を想い、嬉々としてダンボールの山に立ち向かう私がいた。私の育った天草の漁師町二江。そこには竹内旅館と長嶋歯科という洋風の建物があり、私の憧れであつた。小学校の小さな図書室で殆どの本を読み尽くしたが、中でもお気に入りのは「小公女」「赤毛のアン」だった。竹内旅館の洋風階段の拭き掃除を手伝わせて



レストロウの築180年「ハイゲイトエンド」という名の家を買ひ、移り住むことを決めてしまった。地震のない英国では古い家残り、古いほど高額であり、昨日まで他人が住んでいた家に引越すのが普通なのだから。売買には売人か買人か数珠繋ぎに連なっており、ひとつでも滞ると振り出しに戻るとか。「鍵をもらうまではわからない」と呪文のように唱える友人を横目に、憧れのお屋敷の、森のような庭で白い綿ドレスに身を包み、ジェイン・

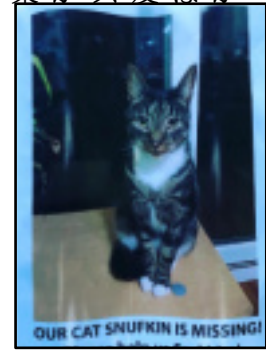


のだと思う。そして今、私は幼い頃からの「洋館に住む森の魔女」になる夢を叶えることになる。

引越しは順調に当日を迎えた。ところが前の住人が家具はもとより、ガスコンロまでも全て持っていくってしまった。新品のコンロは半年待ちとかで、ネット中古品を購入。ところが、予約日に品物は来ず、一ヶ月後になった。この国では約束事や契約がスムーズにいくことはまず無い。怒り続けている私に、友人の娘ブリジッタは「イクミさん、日本は確実の国、ここは不確実の国なのよ。いちいち反応したら病気になるよ」と言った。オーマイゴッ

ド！ 確実な国の常識は、ここではストレスの素でしかない。

しかし、不確実の国の住人は「こうあるべきだ」と正義をかざしたりはしない。友人の愛猫スナフキンが



新居に馴染めず二度も家出したが、コミュニティ全体で探し回ってくれて、近所のペギーさん宅で一ヶ月も無事過ごさせて貰った。これまた近所のアンさんは、オーストラリアに移住するとの事で家中の素敵な家具を無償で譲って下さった。

村の中心にシユタイナー学校があり、その理念に基づいた自然農法の農場が点在している。村の殆どの家が庭で自家菜園をしていて、散歩の帰りには貰い物の野菜や果物で一杯になる。ブリジッタはこうも言った。「幸せでいるにはそんなに多くのものはいらないのよ」 そうだね、「憧れ」が連れてきてくれた場所で、幸せでいる極意をみつけたのだから。



高27回卒

アメリカ旅行

岡田祐司

昨年九月 アメリカ本土へ旅行に行きました。コロナ禍対策も五類移行で、海外への旅行も制限がほぼ無くなったこともあり、久々の旅行です。

一級下の高28回生 大野薫くんが、アメリカ・アリゾナ州在住で、ルフトハンザドイツ航空の操縦教官をしているので、『大野くんを訪ねる旅』を企画し、関西在住の同級生を誘うことにしました。



前年、大野くんが来日した際に、大阪にて同級生数名と再会を果たしたのですが、次はこちらからアメリカへ行こうとの声があったのです。関西在住の高28回生や、栖本中学校時の同級生にお誘いの連絡をしました。しかしながら、高校の同窓生は私だけで、中学校の同級生4名プラスワンにての旅行となりました。アメリカの旅は、ロサンゼルス到着

から ラスベガス→グランドキャニオン→セドナと廻り、大野くんの住むアリゾナ州フェニックスへと続きます。

ここで、日本からのサプライズプレゼントです。大野くんは、高校時代バスケットボール部でしたが、部活の先輩でもあります高25回 鶴田一郎さんのサイン入り作品集を。

また、天草からの参加者が、中学時代の恩師でもある高8回 上中万五郎先生から署名入り新刊本、天草弁でのお手紙とビデオメッセージを預かってきてくれ、渡すことができました。

最後は、再びロサンゼルスへ戻り、MLB エンゼルスとの試合観戦です。お目当ては、もちろん大谷翔平です。ところが、我々の日本出発直前に「脇腹痛めて先発メンバーから外れ」とのニュースが届きました。投手としての出場はできなくなっていました。打者・大谷は見られるだろうと旅を続けましたが、結局、出場することはない、ベンチでの姿もありませんでした。しかし、

大谷がプレイした球場を訪れたことでも全員感動でした。

移動はレンタカーのワンボックス車。一回の移動距離 約六〇〇



キロを大野くんがほぼ一人で運転してくれ、天草の学生時代の友達だけの旅で、一般のツアーでは味わえないとても楽しい旅でした。



あまたか関西

秋のハイキング

毎年11月23日、勤労感謝の日は「あまたか関西・ハイキングの日」です。昨秋は、京都（蹴上・インクラインから南禅寺、永観堂、哲学の道を通じて法然院、銀閣寺まで）の紅葉見学に挑戦しました。観光地京都で紅葉のシーズン、混雑は予想していましたが、人混みを気にしたら、再びこの紅葉の名所を見ることが出来ないからと、覚悟を決めて実施しました。

インクライン

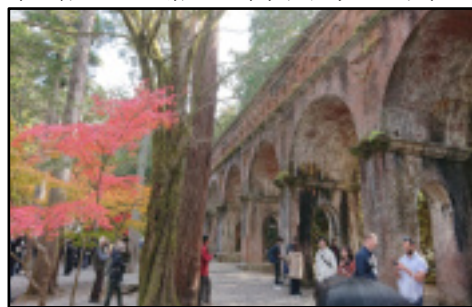
かつて琵琶湖疎水は京都大津間を舟運ルートでしたが、一部の落差が大きいため水路にレールを敷き、台車に船を載せケーブルで引つ張り上下させるインクライン方式でした。明治24年から昭和23年まで、蹴上船溜まりと南禅寺船溜まりを結ぶ延長640メートルの運行でした。10〜15分の通過時間だったそうです。残されたままの線路跡は廃止になっていて、春は見事な景観になるでしょう。インクラインから南禅寺へは、琵琶湖疎水の分流が水路閣に繋がっていて、この流



れに沿って行くと近道で、南禅寺鐘樓に行き着きます。

南禅寺

正式名称が瑞龍山 太平興国南禅寺といい、臨済宗南禅寺派の大本山です。南禅寺の紅葉は見事で、撮影スポットがいくつもありま



す。特に水路閣は重厚で素晴らしいものです。境内が広大なため、他の観光客がそれほど気になりませんでした。水路閣は琵琶湖疎水の分線（蹴上以北）にある水路橋で明治21年に完成。南禅寺境内を通過するため、周辺の景観に配慮して設計された、全長93.2m（幅4m、高9m）のレンガ、花崗岩造りのアーチ型橋脚の風格ある構造物で、京都市指定史跡です。次は永観堂に向かいましたが、南禅寺からすぐです。

永観堂（禅林寺）

京都でも有数の紅葉の名所と言われるだけに、観光客が溢れていましたが、まさに錦絵の境内を堪能できました。永観堂で知られています。正式には聖衆来迎山禅林寺で、浄土宗西山禅林寺派の総本山の寺院です。紅葉の名所として知られ、古くより「秋はもみじの永観堂」と言われています。本尊は

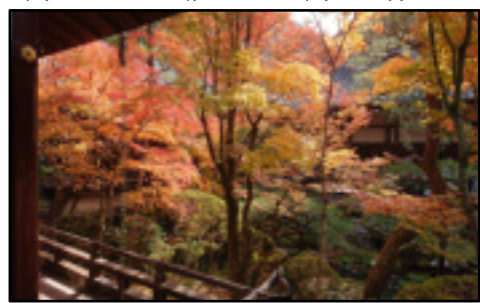
阿弥陀如来で、顔を斜め後ろに向けた阿弥

陀如来像は「みかえり阿弥陀」として有名です。

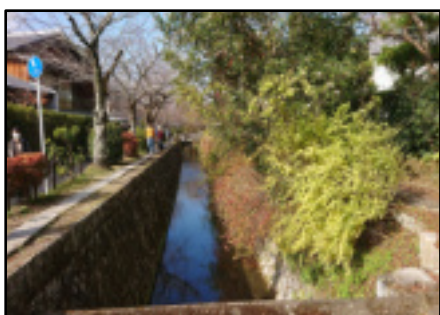
紅葉を堪能した「もみじの永観堂」に別れを告げて、哲学の道に向かいました。

哲学の道

哲学の道の入り口に熊野若王子神社があります。ここでお弁当タイムでした。



哲学の道は、熊野若王子神社前の冷泉通若王子橋を南端として始まり、東山麓の琵琶湖疎水に沿って銀閣寺西の今出川通銀閣寺橋を北端として続く約1.5kmの散歩道です。もともと、明治23年に琵琶湖疎水が完成した際に、管理用道路として設置された道です。明治の頃、文人が多く住むようになり「文人の道」と称されていたようです。その後、京都大学の哲学者西田幾多郎を始め、その弟子の田辺元、三木清



治の頃、文人が多く住むようになり「文人の道」と称されていたようです。その後、京都大学の哲学者西田幾多郎を始め、その弟子の田辺元、三木清

らが思索にふけりながら歩んだことから、「哲学の小径」と呼ばれるようになったといわれています。1972年保存運動の中で「哲学の道」という名称に決まったようです。「日本の道100選」に選定されています。

法然寺

哲学の道から少しそれて、法然寺を訪ねました。1184年（元暦元年）の一の谷の合戦で、16歳の平敦盛を討った源氏の武将熊谷直実（のちの蓮生）が創建した浄土宗の寺院です。本尊は法然上人自作尊像です。茅葺、数寄屋造りの山門から、そこは別世界でした。方丈庭園は、建物内から見たときに最も美しく見えるという池泉鑑賞式庭園（浄土庭園というらしい）になっています。

最後の銀閣寺は飛ばして、反省会・懇親会を全員参加でやるのが決まり、市バスで京都駅に向かいました。こういう話はすぐ決まります。さすがにバスの混雑と渋滞で疲れましたが、京都駅近く（青空の下）で親交を温めました。



古刹をたずねて

廬山寺



今年の大河ドラマは紫式部を素材にした「光る君へ」です。平安王朝の権力闘争の中で、貧しい下級貴族の娘（役名はまひろ・のちの紫式部）が翻弄されながらも強く生きていくドラマです。脚本が大石静、主演は吉高由里子で、筆者の好きなライターであり役者です。さらに大河ドラマでは主演・脚本に加えて制作統括・演出を女性が担当するのは初めてのことだそうです。視聴率はとくに高くはないですが、見たえのあるドラマです。

廬山寺は紫式部の曾祖父、権中納言藤原兼輔（堤中納言）が建てた邸宅で、紫式部はここで育ち、結婚生活を送り、娘の賢子を生み育て、執筆をしていたとされています。JR京都駅から市バス4・5・205系統で府立大学病院前下車。すぐに左に折れてそのまま行くと寺町

通になります。寺町通を右に折れてすぐ廬山寺の門が見えます。



廬山寺は天台圓淨宗の本山で、寺号は廬山天台講寺が正式名称。紫式部の邸宅跡として有名です。如意輪観音が安置されている元三太子堂は洛陽三十三所観音霊場第32番札所です。

本尊は阿弥陀三尊（阿弥陀如来、左脇侍観音菩薩、右脇侍勢至菩薩）で、国指定の重要文化財です。他に寺宝として、国宝の慈恵大師筆遣告状や如意観音半伽像、後伏見天皇御願文、正親町天皇女房奉書、慈恵大師二十六ヶ条起請文、選擇集、普賢十羅殺女像などの重文があります。

廬山寺の歴史は、少々複雑です。良源（元三大師、慈恵大師・延暦寺の中興の祖）により、938年船岡山の南麓に願金剛院が創建されます。一方、1245年に法然に帰依した住心房覚瑜が船岡山南麓の出雲路に寺を建立して、中国の廬山にならい廬山寺としました。

南北朝時代、両方の住持を兼務していた明導照源によって1368年に興

願金剛院が廬山寺を吸収合併し、廬山天台講寺となったのです。やがて応仁の乱で焼失。その後、豊臣秀吉の命によって現在の場所に移されました。しかし1708年の宝永の大火、1788年の天明の大火と度々火事のため焼失するのです。

現在の本堂は1794年に仙洞御所の一部を移築して作られたものです。明治維新までは宮中の仏事を司る御黒戸四箇院（廬山寺、二尊院、般舟院、遣迎院）の一つでした。明治5年に天台宗の寺院となり、昭和23年に四宗兼学の天台圓淨宗として独立して現在に至ります。

昭和40年に考古・歴史学者角田文衛により紫式部邸（堤邸）跡と考証されました。紫式部の曾祖父藤原兼輔邸があったこと、室町時代の「源氏物語」の注釈書「河海抄」の記述が根拠とされました。御黒戸四箇院のうち現存する唯一の摂家



門跡でもあります。これにより、世界文学誌上屈指の史跡、世界文学発祥の地と言われています。

昭和40年には源氏庭が築かれ、顕彰碑も建てられています。源氏

庭は白砂と苔の庭で、季節になると桔梗が咲き誇ります。源氏物語の「朝顔」の巻に由来している、この



頃の朝顔は桔梗のことを指すと言われています。真偽のほどはわかりませんが、桔梗の紫色は紫、紫式部のイメージに重なります。境内を散策しながら紫式部の世界に浸るのも贅沢かも知れません。

曾祖父と紫式部さらに娘の賢子（大式三位）は有名な歌人でもあります。百人一首に三人の歌があります。

堤中納言

みかの原わきて流るるいづみ川いつ見きとてか恋しかるらむ

紫式部

めぐり逢ひて見しやそれとも分かぬ間に雲隠れにし夜半の月影

大式三位

有馬山猪名の笹原風吹けばいでそよ人を忘れやはする